

普通徴収切替理由書

市町村名	館山市	指定番号	
給与支払者の氏名又は名称			

符号	普通徴収切替理由	人数
普 A	総従業員数が2人以下 (下記「普 B」～「普 F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普 B	他の事業所で特別徴収 (乙欄該当者など)	人
普 C	給与が少なく税額が引けない (年間の給与支給額が93万円以下を含む)	人
普 D	給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)※下記留意事項5を参照	人
普 E	事業専従者 (個人事業主のみ対象)	人
普 F	退職者又は5月末日までの退職予定者 (休職、育児休業を含む)	人
普通徴収合計人員 ※普 A～普 F の合計		人

普通徴収切替理由書の留意事項

- 普通徴収とする場合は、**個人別明細書の摘要欄に該当する符号を必ず記入してください。**この普通徴収切替理由書の提出がない場合は、**原則どおり、特別徴収対象者となります。**また、提出があっても確認の結果、特別徴収となることもあります。
- この切替理由書は、普通徴収対象者(特別徴収できない方)の個人別明細書の上に付けて提出してください。(特別徴収のみの場合は不要)
- 切替理由書の合計人数と総括表の普通徴収対象者の合計人数が一致すること及び個人別明細書の摘要欄に符号の記入があることを必ずご確認ください。
- 普 A～普 F 以外の理由で普通徴収は認められません。**普 B については、乙欄該当者でも、他の事業所で特別徴収されない場合は、特別徴収となります。**
- 普 D については、給与が支給されない月があり、税額の天引きができない可能性のある方が該当となります。**パートやアルバイトの方でも、毎月給与が出る場合は該当しません。**

普通徴収切替理由書の記入例

【普通徴収切替理由書】

市町村名	館山市	指定番号	99999
給与支払者の氏名又は名称	株式会社 ○○商事		

  

符号	普通徴収切替理由	人数
普 A	総従業員数が2人以下 (下記「普 B」～「普 F」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数)	人
普 B	他の事業所で特別徴収 (乙欄該当者など)	2人
普 C	給与が少なく税額が引けない (年間の給与支給額が93万円以下を含む)	3人
普 D	給与の支払が不定期 (例：給与の支払が毎月でない)※下記留意事項5を参照	人
普 E	事業専従者 (個人事業主のみ対象)	人
普 F	退職者又は5月末日までの退職予定者 (休職、育児休業を含む)	2人
普通徴収合計人員 ※普 A～普 F の合計		7人

普通徴収とする場合、その理由を符号から選んで摘要欄に記入してください。

総括表の普通徴収対象者の人数と一致することを確認してください。

【個人別明細書 摘要欄 抜粋】

給与支払報告書(個人別明細書)

※(符号)	(定額者番号)					
住所	(個人番号)					
	(控除額)					
	(フリガナ)					
	氏名					
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額		
	円	円	円	円		
(源泉)控除の有無等	配偶者控除の額	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)	16歳未満扶養親族の数	障害者の数(本人を除く。)	非居住者である親族の数
有	円	円	特定 老人 人 従人 人 従人 人 従人	人	円	円
	円	円	円	円	円	円
	円	円	円	円	円	円
(摘要)	普 F	(令和△年3月31日 退職予定)				

退職予定者は摘要欄に退職予定日を記入してください。